



# 2018年 3月期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2018年 5月11日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2018年3月期 決算 ハイライト

単位：百万円	前期	当期	増減
売上収益	17,346	17,016	▲ 330
個別開示項目前営業利益（▲損失）	▲ 183	271	+ 454
営業利益	295	330	+ 35
親会社の所有者に帰属する当期利益（▲損失）	▲ 52	249	+ 301
資本合計	638	911	+ 273

## ■ 売上収益

- 情報機器は増収であるものの、音響機器、その他事業の減収により全体として減収

## ■ 営業利益

- 業績改善のための固定費等削減施策により、販売費及び一般管理費は前期より5.7億円減少し、本業の業績を表す個別開示項目前営業利益は大幅改善し黒字化
- 固定費等削減施策のひとつである希望退職の実施に伴い特別退職金を計上したものの、希望退職者の退職給付債務の清算に伴う利益、企業年金の一部確定拠出化による利益により、営業利益は前期から改善

## ■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

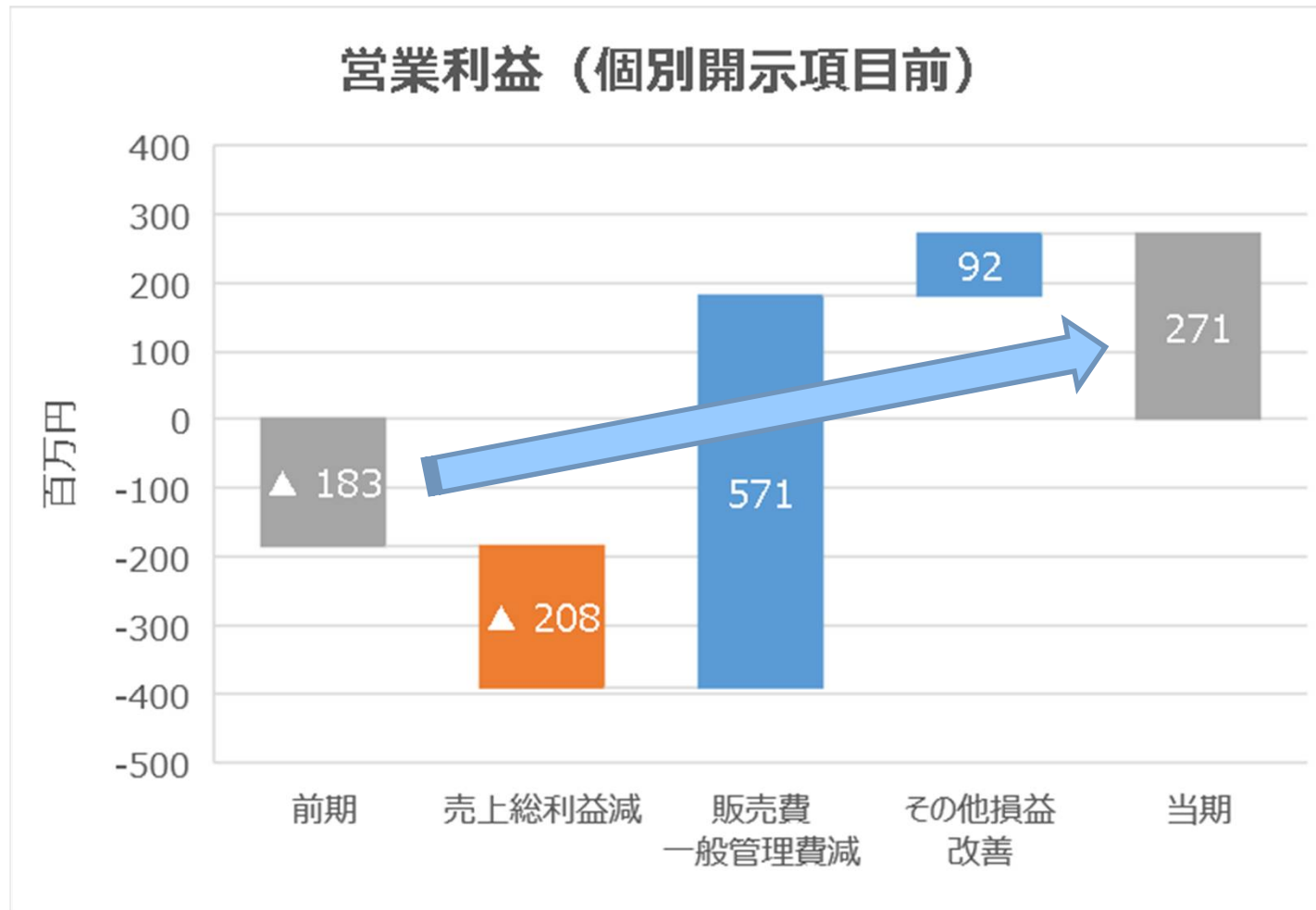
- 営業利益の改善、金融費用純額の減少により、親会社の所有者に帰属する当期利益は改善し黒字化

## ■ 資本合計（純資産）

- 前期末に6.4億円であった資本合計（純資産）は当期末は9.1億円と2.7億円増加

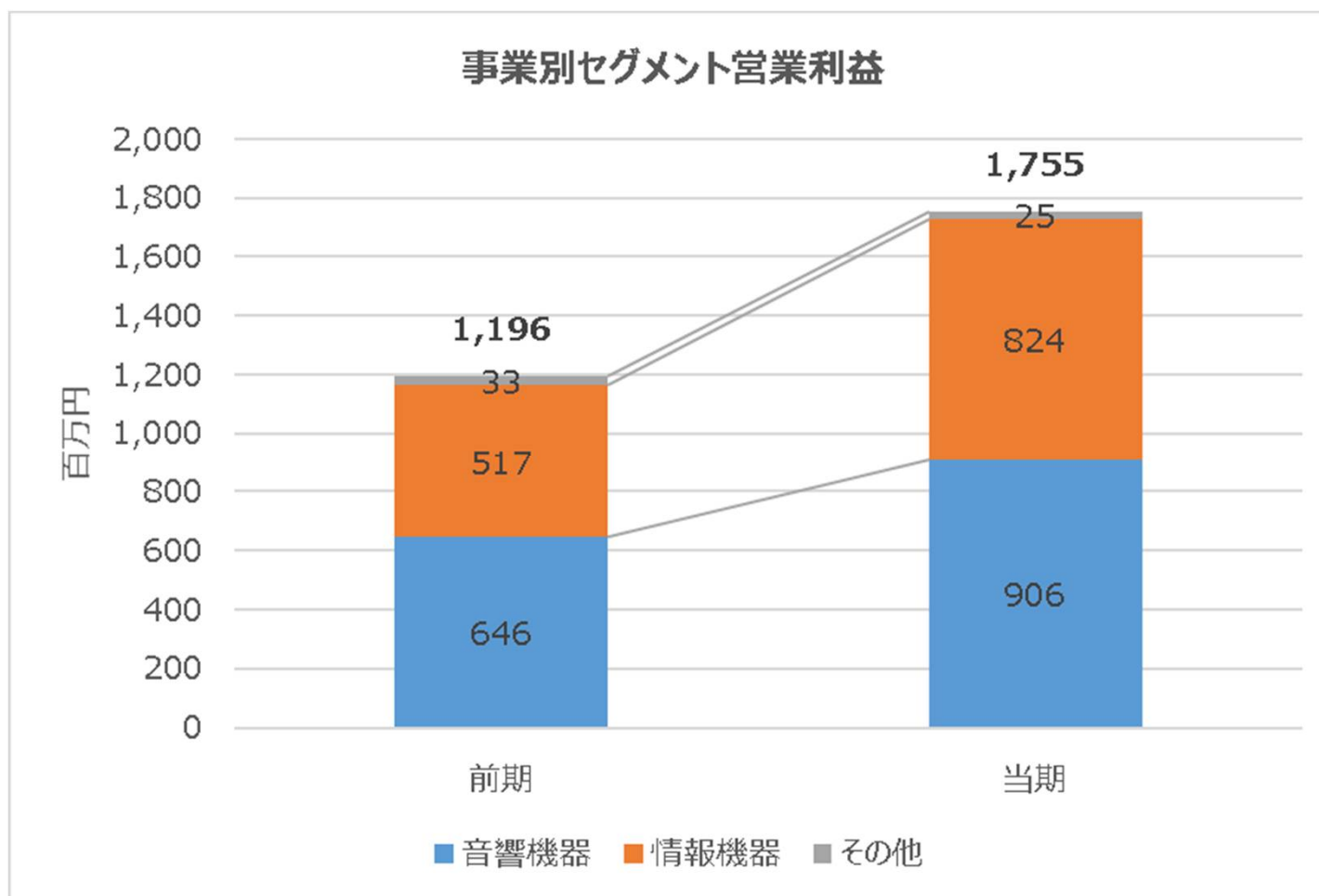
# 営業利益

- 本業の業績を表す営業利益（個別開示項目前）は、希望退職等の固定費削減施策の実施効果により大幅に改善し黒字化。



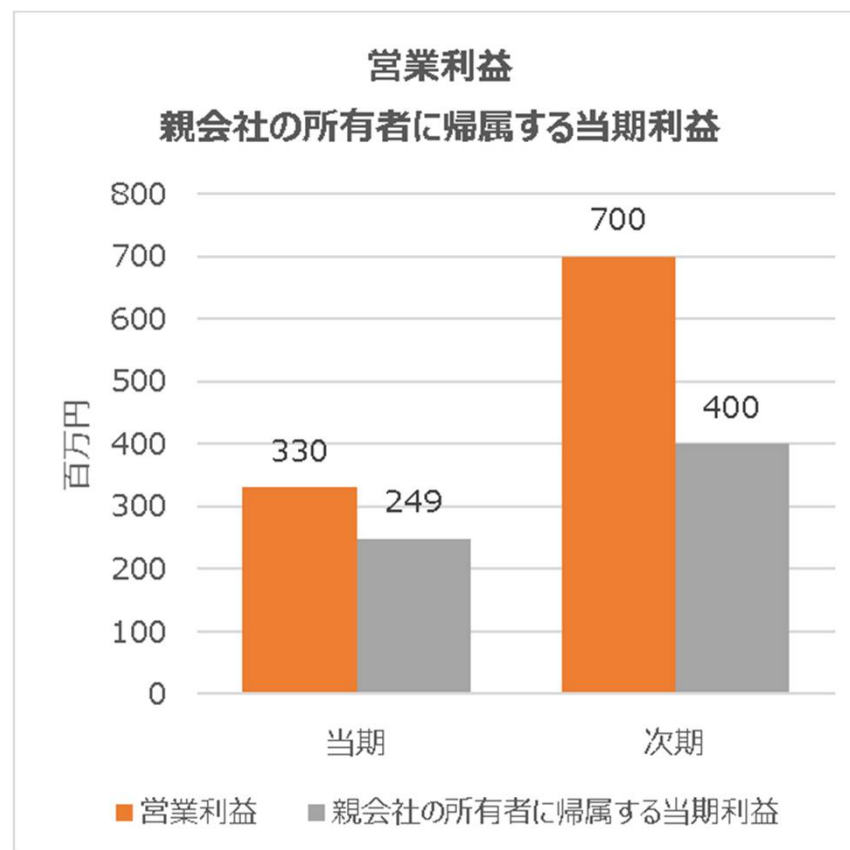
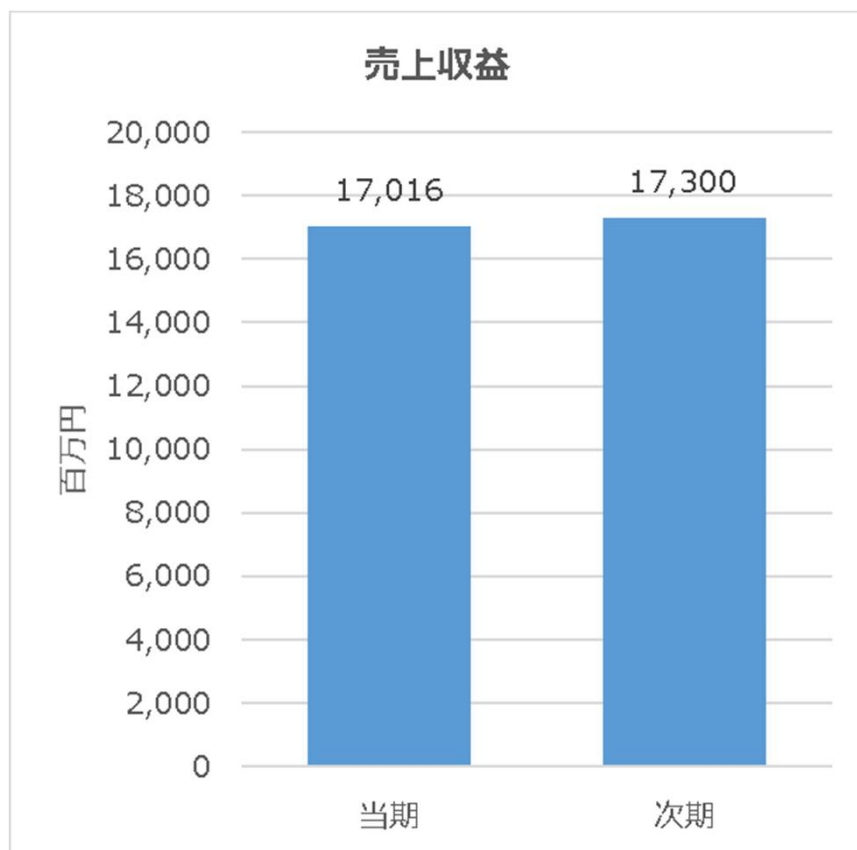
# 事業別セグメント営業利益

- 音響機器： 減収となったが、固定費削減等によりセグメント営業利益は増益。
- 情報機器： 増収および固定費削減等により、セグメント営業利益は増益。



## 次期（2019年3月期）の見通し

- 収益性改善を目指し、業務用オーディオ機器を中心にBtoB事業へのシフトを加速させる。
- BtoB事業領域における投資を拡大し、積極的に新製品を投入することで売上増を目指す。
- 当期までに実施した構造改革を含む損益分岐点低減施策が、通年効果を発揮することで収益性改善を見込む。
- 上記により増収増益を見込む。



# トピックス 1

## ■ 一般オーディオ機器 TEAC



USB DAC/ネットワークプレーヤー  
『NT-505』

昨年11月に発表しました『NT-505』と『UD-505』を、2018年1月より販売開始いたしました。発売後も一時品切れとなるほど話題となっており、各試聴会では、お客様や評論家の皆様からご好評の声を頂きました。

オーディオ専門誌でも音質面で高く評価いただき誌面で大きく取り上げられております。



USB DAC/ヘッドホンアンプ  
『UD-505』

## ■ 一般オーディオ機器 TEAC



ダブルカセットデッキ  
『W-1200』

ティアックは、国産初のカセットテープデッキ『A-20』の発売以来、50周年を迎える本年、カセットデッキの新製品『W-1200』を販売開始いたしました。

音楽を聴くメディアはレコード、カセットテープ、CD、MD、データへと変化し、ティアック

でも最新のハイレゾであるDSD音源のプレーヤーを開発するなど、その時代時代に要求された最高のオーディオ製品を開発してまいりました。時代の変化と共に変わる音楽の聴き方に柔軟に対応しながらも、お客様の音楽生活に、今後も寄り添ってまいります。



国産初のカセットテープデッキ  
『A-20』

# トピックス 2

## ■ 音楽制作・業務用オーディオ機器 TASCAM

2017年8月に行われた（株）河合楽器製作所が創設した「Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール」のファイナリストのピアノ演奏を、TASCAM製品で録音協力し、そのハイレゾ音源が2018年1月より音楽配信サイトe-onkyo musicで配信開始されました。



今回配信されたのは、同コンクールの記念すべき第1回目のファイナルに出場したピアニストの演奏を収録したもので、第1位に輝いた三浦 謙司（日本）によるF. Chopin: Polonaise No.6 in A-flat major “heroique” Op.53をはじめ、全9名のピアニストによる演奏を収録した9タイトルです。

本音源はファイナル当日の演奏をハイレゾマスターレコーダー『DA-3000』とクロックジェネレーター『CG-2000』でDSD5.6MHzにて多チャンネル録音をいたしました。演奏者の繊細かつ情熱的な表現が、会場の臨場感と共に録音されており、まるで会場にいるかのような音場を再現しています。

ハイレゾ音源情報

『第1回ShigeruKawai国際ピアノコンクール ファイナル ～ Kenji MIURA』 / Kenji MIURA  
<http://www.e-onkyo.com/music/album/kwi0006/>



当日のレコーディングの様子。

CG-2000よりクロックを出力し、DA-3000でDSD5.6MHzフォーマットにて録音。

（2台のDA-3000を使用してDSD5.6MHzで4チャンネル録音し、もう2台のDA-3000でバックアップ録音を実施）

# トピックス 3

## ■高級オーディオ機器 ESOTERIC



Network Audio Transport 『N-03T』

2018年2月にデジタル出力に特化したネットワークトランスポート『N-03T』を販売開始いたしました。

お気に入りのセパレート型D/AコンバーターやスーパーオーディオCDプレーヤーにUSBでデジタル接続することにより、ファイルやストリーミングがお好みのD/Aコンバーターでお楽しみ頂ける、自由度の高いシステム構築が可能です。発表以来、オーディオ専門誌で大きく取り上げられており、著名なオーディオ評論家の皆様よりご好評を頂いております。

## ■高級オーディオ機器 ESOTERIC



Integrated Amplifier 『F-03A』

アメリカで著名なオーディオ専門誌「The Absolute Sound」にてESOTERIC F-03Aが2017 Product of the Year Awardを受賞し、以下のコメントを頂戴しました。

「30Wの出力はクラスAで、最も甘美な音質の一つに数えられるだろう。適切な能率のスピーカーと組み合わせることで豊かな倍音、正確な過度特性、透明感と、もっと高価なセパレートクラスの音楽的解像度を備えている。シャーシの造り込み、操作性の高さ、実際に感じる『質感の高さ』は称賛に値する。これぞ、小規模な中でのウルトラハイエンドである。」